

# 平成21年 境港市の 10大 ニュース

(平成 21 年 12 月 18 日現在)

市民・市職員合わせて 100 人で選  
考しました (順不同)



☆リュウグウノツカイ捕獲 (11月)  
4.3メートルの巨大なリュウグウノツカイが境水道で捕獲され、来年度、はく製にして海とくらしの史料館で展示されることが決まりました。



☆保育所園庭の芝生化進む  
市立保育所で、保育所の保護者と市の協働で、芝生の苗作り、植え付けを行いました。



☆韓国・ロシアと結ぶ定期貨客船が就航 (6月)  
待ち望まれていた、韓国・東海とロシア・ウラジオストクと境港を結ぶ、DBSクルーズフェリー社の定期貨客船が就航しました。



☆米子空港滑走路 2,500メートル供用開始 (12月)  
滑走路 2,500メートル化により、冬季の安定運航や飛行距離の延長による国際化が期待されるなど、空港がますます便利になりました。



☆大橋川改修事業に境港市が同意 (12月)  
大橋川改修事業に5項目の条件付で同意。これにより長年の懸案であった大橋川改修問題は大きく前進しました。



☆「ゲゲゲの女房」NHKでドラマ化決定 (4月)  
水木さんの妻、武良布枝さんの自伝がドラマ化が決定。水木しげるロードは、水木さんの顕彰像の設置、春の大型連休に過去最高の人出など話題が絶えませんでした。



☆新型インフルエンザ対策本部を設置 (4月)  
市民生活をおびやかす新型インフルエンザを食い止めるよう対策本部を設置。消毒薬の設置や看板でうがいや手洗いによる予防を呼びかけました。



☆定住自立圏の形成協定に調印 (10月)  
中海圏域の4市1町は定住自立圏の形成に関する協定を締結し、圏域の発展と安心して暮らせる地域づくりに協力していきます。



☆カニかご漁船がロシアにだ捕 (1月)  
ベニズワイガニ漁で出港していた漁船が、ロシアにだ捕され乗組員の安否が気遣われたが、11日後、全員無事に解放されました。



☆伯州綿復活に向けて、本格的栽培  
5月に種をまき、8月に開花、9月には真っ白でふわふわの綿が収穫できました。

- ◆1月 ◆消防出初式 ◆成人式  
◆カニ感謝祭 ◆プラスフェスタ
- ◆2月 ◆定期貨客船試験運航  
◆水木さんの自伝漫画がフランスで遺産賞を受賞
- ◆3月 ◆水木しげるさんの顕彰像設置 ◆桜まつり
- ◆4月 ◆みんなで選ぶ境港の水産加工大賞
- ◆5月 ◆祝日のごみ収集開始  
◆子どもペーロン大会  
◆美保基地航空祭 ◆ロシアビジネスサポートセンター開所
- ◆6月 ◆夕日ヶ丘で定期借地権制度開始 ◆水木さん新作紙芝居披露 ◆まぐろラーメン対決 ◆境港市美術展覧会 ◆キャンドルナイト in 境港 ◆宍道湖中海一斉清掃
- ◆7月 ◆境港市ピアノコンクール ◆妖怪ジャズフェスティバル ◆みなと祭
- ◆8月 ◆ペーロン・ボートレース大会 ◆ゲタ飛ばし大会 ◆妖怪そっくりコンテスト
- ◆9月 ◆水木しげる記念館年中無休化 ◆米子空港まつり ◆カニバーガー発表
- ◆10月 ◆みんなでスポーツ体づくり市民大会 ◆水産まつり ◆きたろうカッパ駅伝 ◆中海圏域産業技術展 ◆妖怪検定
- ◆11月 ◆境港市表彰式、ダイヤモンド婚・金婚式典 ◆妖怪ウォーク
- ◆12月 ◆人権ふれあいフェスティバル ◆空港連絡橋完成

平成 21 年  
主な出来事